

■基本設定の手順

▶本製品は、①～⑤の手順を参考に、設定してください。

① 本製品のネットワーク設定

設定画面から、「ネットワーク設定」メニューをクリックして、下記の[IPアドレス設定(ネットワーク1)]項目を設定します。

※IPアドレスは、同じネットワーク上の機器(有線LANを含む)と重複しないようにご注意ください。

※デフォルトゲートウェイは、本製品を接続するネットワークに応じて設定してください。

※設定画面の各設定項目の説明については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

本体名称	名称	
IPアドレス設定	ネットワーク1	ネットワーク2
IPアドレス	192.168.0.1	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ		

② 無線通信モードとアンテナの設定

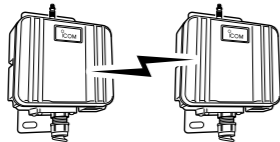
「無線設定」メニューをクリックして、「無線LAN設定」項目から[使用モード]欄と[アンテナ]欄を設定します。

※近くで稼動するほかの無線ネットワークグループと電波干渉することがないように、「Site Survey」モードを設定して、事前に確認をしてください。

【本製品の無線通信モードについて】

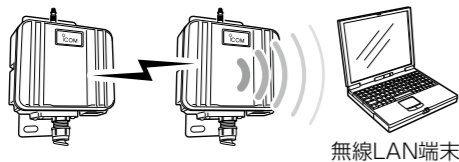
◎「Wireless Bridge」モード

対向する本製品同士を無線ブリッジ(レイヤー2)で接続します。(出荷時のモード)



◎「Access Point」モード

「Wireless Bridge」モードによる接続に加え、本製品と無線LAN端末を無線で接続します。



◎「Site Survey」モード

電波環境調査専用モードです。ほかの無線LAN機器と電波干渉しない最適な場所への設置を確認できます。※無線接続は、停止しますのでご注意ください。



◎「OFF」

保守などで、本製品の無線通信機能を停止させるとき設定します。

③ サイトサーベイ(電波環境調査)の実施

手順②の操作で、「Site Survey」モードを設定したときは、「情報表示」メニュー→「無線UNIT」の順にクリックして、本製品の設置場所周辺における電波環境を確認します。

※調査結果が表示されるまで、約30秒かかります。

※下図の調査例では、「01CH」と「11CH」の無線ネットワークグループが本製品の近くに存在することを表示しています。

設定(⇒手順④)するときは、それらの無線ネットワークグループから4チャンネル(例：06CH)以上空ければよいと推測できます。

※サイトサーベイの詳細や調査例については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

No	チャンネル	RSSI	BSSID	暗号化	SSID
1	01CH (2412 MHz)	8		WEP	
2	11CH (2462 MHz)	2		WEP	
3	11CH (2462 MHz)	5		暗号なし	LG

④ 無線チャンネルとSSIDの設定

手順②と同じ「無線LAN設定」項目から、「チャンネル」欄と「SSID」欄を設定します。

※無線ブリッジ接続する相手側のSB-520と同じ[SSID]を設定することで、本製品に登録が必要な相手側の[BSSID]を自動検出できます。「Access Point」モードに設定したときは、自動検出された無線ブリッジ接続する相手側の[BSSID]を本製品に登録後、無線LAN端末との接続に使用する[SSID]に変更してください。

⑤ 対向する相手側のBSSIDを登録する

「無線設定」メニュー→「無線ブリッジ」の順にクリックします。「ステーションリスト」項目の[自動検出された端末]欄に相手側の[BSSID](表示例：00-90-C7-*-*-*)が表示されたときは、その欄の右にある<追加>をクリックします。

※自動検出できないときは、相手の[BSSID]を入力してから、<追加>をクリックすると、登録できます。

BSSID	最大通信速度
00-90-C7	自動
00-90-C7	自動

BSSID	最大通信速度	信号強度
00-90-C7	自動	15

■長距離通信モードを設定するには

「無線設定」メニューをクリックして、「無線LAN設定」項目から[長距離通信モードを使用]欄を「する」に設定します。

※長距離通信モードは、対向する相手側の本製品にも設定することで有効になります。

■暗号化方式と設定について

不正アクセス防止のため、必ず「無線設定」メニュー→「暗号化」画面の順にクリックして、暗号化を設定してください。

※暗号化方式は、「WEP RC4」、「OCB AES」、「TKIP」、「AES」の4種類から選択できます。

※「TKIP」方式と「AES」方式は、無線ブリッジ接続機能による通信には使用できません。

※無線アクセスポイント機能による通信では、すべての暗号化方式が使用できません。

※「Access Point」モードに設定して、無線ブリッジ接続と併用するときは、「WEP RC4」方式、または「OCB AES」方式でご使用ください。

※通信相手と暗号化設定が異なるときは、通信できません。

※ネットワーク認証やRADIUS設定など、詳細な設定手順については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

■設定画面へのアクセスを制限するには

不正アクセス防止のため、必ず「システム設定」メニューをクリックして、管理者パスワードを設定してください。

■リセット(再起動)について

本製品の再起動が必要な場合は、本製品のLANケーブルを抜き差しするか、SA-4や[IEEE802.3af]規格対応のHUBに接続された電源を抜き差ししてください。

※電源の入れなおしができない環境では、Telnet、またはターミナルソフトウェアから、restartコマンドを使用してください。

■全設定の初期化について

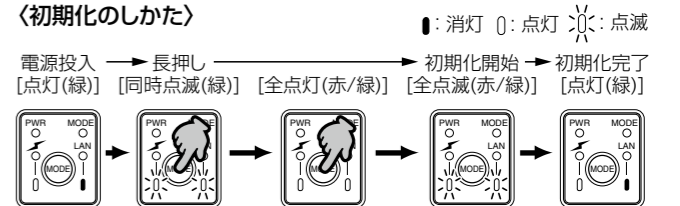
本製品に設定されたIPアドレスが不明な場合など、本製品の設定画面にアクセスできないときは、次の手順で全設定を初期化できます。

※初期化を実行すると、「192.168.0.1」(出荷時の設定)で動作します。

※初期化によって、パソコンに設定されたIPアドレスのネットワーク部が本製品と異なったときは、アクセスできなくなりますので、必要に応じてパソコンのIPアドレスを変更してください。

※Web設定画面での初期化の方法は、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

〈初期化のしかた〉



① SA-4(付属品)とLANケーブルで接続された本製品の電源を入れます。

② 本製品とSA-4の接続を除くすべてのネットワーク機器を本製品からはずします。

●[PWR](緑)ランプの点灯と、[LAN](赤)ランプの消灯を確認します。

③ ランプが全点灯(赤/緑)するまで、<MODE>ボタンを長く押しします。

●[PWR](緑)ランプと[MODE](緑)ランプが数回同時点滅したのち、全点灯(赤/緑)します。

※同時点滅しないときは、はじめからやりなおしてください。

④ <MODE>ボタンから手をはなします。

●ランプが全点滅(赤/緑)して、設定初期化を開始します。

⑤ [PWR](緑)ランプの点灯を確認します。

●設定初期化が完了です。

■おもな搭載機能について

無線LAN機能 (★無線アクセスポイントに対する機能)

- ◎IEEE802.11b/g規格
- ◎無線ブリッジ接続機能
- ◎VLAN機能
- ◎アクセスポイント機能★
- ◎ローミング機能★
- ◎ANY接続拒否機能★
- ◎MACアドレスフィルタリング★
- ◎無線端末間通信禁止機能★
- ◎11g保護機能★
- ◎パワーレベル調整機能
- ◎接続端末制限機能★
- ◎サイトサーベイ機能
- ◎無線ブリッジ簡易設定機能(SSIDによる検索)
- ◎暗号化セキュリティ(WEP RC4, OCB AES, TKIP, AES)
- ◎ネットワーク認証(オープンシステム、共有キー、IEEE802.1X, WPA, WPA2, WAP-PSK, WAP2-PSK)

ルーター機能

◎スタティックルーティング機能(有線-無線間)

ネットワーク管理機能

◎SYSLOG ◎SNMP

その他

- ◎DHCPサーバー機能
- ◎静的DHCPサーバー機能
- ◎スパンニングツリー機能
- ◎RIP機能(RIP1, RIP2)
- ◎内部時計設定
- ◎PoE機能
- ◎TELNETメンテナンス(TELNET)
- ◎WWWメンテナンス(HTTP)
- ◎接続制限機能(管理者パスワード/管理者IP)
- ◎ファームウェアのバージョンアップ
- ◎ルーティングプロトコル TCP/IP(RIP, RIP2, スタティック)